

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 ミナトエレクトロニクス株式会社
 コード番号 6862 URL <http://www.minato.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 若山 健彦
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 門井 豊
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 045-591-5611

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	1,265	—	5	—	0	—	8	—
26年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 6百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	0.38	0.37
26年3月期第2四半期	—	—

(注) 27年3月期第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、26年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	2,372	1,014	41.4
26年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 981百万円 26年3月期 1百万円

(注) 27年3月期第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、26年3月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,500	—	32	—	13	—	1	—	0.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成27年3月期第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、対前年増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社イーアイティー、除外 1社 (社名)
(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	23,163,192 株	26年3月期	20,455,152 株
27年3月期2Q	9,987 株	26年3月期	8,837 株
27年3月期2Q	22,277,305 株	26年3月期2Q	17,854,599 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

第1四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期及び前事業年度末との対比は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成26年4月に実施された消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動懸念があったものの、政府等による積極的な金融政策をはじめとする経済政策の継続により、企業収益や雇用情勢に改善が見られ、景気は緩やかな回復基調で維持しております。

このような状況のもと、当社におきましては、平成26年4月8日付で株式会社イーアイティを完全子会社とし、システム開発関連事業を当社グループに取り込んでおり、グループ内での横断的な人事を行い組織の効率化を進めております。またタッチパネル関連事業において、国土交通省の「公共工事等における新技術情報提供システム」に「路上工事現場用デジタルサイネージ」の技術名称で登録されているデジタルサイネージ技術を利用した歩行者向け工事看板といった新たな商材の取扱いの開始や、主にデバイス関連事業において、中国における販売網を充実させるため広東省東莞市へ連絡事務所を開設しており積極的に新たな事業展開を進めております。

以上の結果、当社の当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,265百万円、営業利益5百万円、経常利益0.5百万円、投資有価証券を売却したことによる特別利益10百万円を加え四半期純利益8百万円となりました。

セグメント別の業績につきましては、次のとおりであります。

①デバイス関連

デバイス関連事業につきましては、前事業年度においてオートハンドラ（自動プログラミングシステム）の売上を拡大したことにより、車載メーカーに納入したオートハンドラ関連製品への変換アダプタでの売上効果が出始めており、また、業務提携先の製品（デバイス移載機）の売上も追加拡大されております。海外展開した拠点に関しましても売上拡大の効果が表れてきており、書込みサービスでは、スマートメーター及び車載メーカー関連の書込み売上が倍増しております。

これらの結果、当セグメントの売上高は329百万円、セグメント利益（営業利益）は58百万円となりました。

②タッチパネル関連

当セグメント製品のうち、タッチパネル分野においては、ATM用中型タッチパネルの売上については計画を若干下回る結果となりましたが、自動販売機向けの小型タッチパネルの売上がほぼ計画通りに推移し、大手ディスプレイメーカー向けの大型タッチパネルの売上は計画を大幅に上回る結果となりました。また、デジタルサイネージ分野においては、大型ショッピングモール向けデジタルサイネージシステムや、路上工事現場用サイネージシステムなどが売上を牽引し、ほぼ予定通りの売上を上げる結果となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は578百万円、セグメント利益（営業利益）は16百万円となりました。

③システム開発関連

第1四半期連結累計期間より、株式会社イーアイティを連結の範囲に加え、新たにシステム開発関連事業を営んでおります。当セグメントは、情報処理システム開発及び技術者の派遣を主な事業としております。当事業では、金融機関のシステム導入などの大型案件による景況感の改善で受注高は安定的に推移しております。要員拡大が予定より進まず売上高は前年と比べるとほぼ横ばいとなりましたが、技術者の稼働率は高い状態を維持でき、高い営業利益率となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は351百万円、セグメント利益（営業利益）は12百万円となりました。

④その他事業

当社は、新たな育成事業として環境エレクトロニクス事業の立ち上げを推進してまいりました。太陽光発電事業（売電を含む。）への取り組みの他、LED、無電極ランプ、電解水生成器販売など新たな商流づくりを行ってまいりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は6百万円、セグメント利益（営業利益）も6百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間の総資産は、2,372百万円となりました。

流動資産は、1,439百万円となりました。主な内訳は、受取手形及び売掛金605百万円、現金及び預金517百万円であります。

固定資産は、933百万円となりました。主な内訳は、土地635百万円、有形固定資産その他143百万円、投資その他の資産77百万円であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間の負債は、1,358百万円となりました。

流動負債は、1,030百万円となりました。主な内訳は、短期借入金596百万円、支払手形及び買掛金244百万円であります。

固定負債は、327百万円となりました。主な内訳は、再評価に係る繰延税金負債109百万円、長期借入金100百万円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間の純資産は、1,014百万円となりました。主な内訳は、資本金1,471百万円、資本剰余金343百万円、利益剰余金△748百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、第1四半期連結会計期間より連結決算を開始いたしました。これに伴い、平成27年3月期の業績予想は連結での業績予想を開示しております。業績の予想といたしましては、本日平成26年11月7日に公表いたしました「平成27年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ」のとおり、平成26年5月9日に公表いたしました通期連結業績予想のまま修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期会計期間において、簡易株式交換の方法により、株式会社イーアイティーを完全子会社としたため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(平成26年9月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	517,875
受取手形及び売掛金	605,165
商品及び製品	95,175
仕掛品	98,707
原材料及び貯蔵品	86,008
その他	36,643
貸倒引当金	△4
流動資産合計	1,439,571
固定資産	
有形固定資産	
土地	635,450
その他	1,310,905
減価償却累計額	△1,167,602
有形固定資産合計	778,753
無形固定資産	
のれん	50,014
その他	26,585
無形固定資産合計	76,600
投資その他の資産	
その他	122,736
貸倒引当金	△44,784
投資その他の資産合計	77,951
固定資産合計	933,305
資産合計	2,372,876
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	244,846
短期借入金	596,201
1年内返済予定の長期借入金	63,162
未払法人税等	6,089
賞与引当金	11,748
製品保証引当金	900
その他	107,540
流動負債合計	1,030,487
固定負債	
長期借入金	100,274
役員退職慰労引当金	15,950
退職給付に係る負債	85,102
その他	126,332
固定負債合計	327,659
負債合計	1,358,147

（単位：千円）

当第2四半期連結会計期間
（平成26年9月30日）

純資産の部	
株主資本	
資本金	1,471,814
資本剰余金	343,306
利益剰余金	△748,727
自己株式	△998
株主資本合計	1,065,395
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	5,734
土地再評価差額金	△89,339
その他の包括利益累計額合計	△83,604
新株予約権	32,938
純資産合計	1,014,729
負債純資産合計	2,372,876

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	1,265,516
売上原価	874,288
売上総利益	391,227
販売費及び一般管理費	385,299
営業利益	5,928
営業外収益	
受取賃貸料	5,761
その他	1,261
営業外収益合計	7,022
営業外費用	
支払利息	10,702
その他	1,713
営業外費用合計	12,416
経常利益	534
特別利益	
投資有価証券売却益	10,513
特別利益合計	10,513
税金等調整前四半期純利益	11,048
法人税、住民税及び事業税	2,684
法人税等合計	2,684
少数株主損益調整前四半期純利益	8,364
四半期純利益	8,364

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	
少数株主損益調整前四半期純利益	8,364
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△1,660
その他の包括利益合計	△1,660
四半期包括利益	6,703
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	6,703
少数株主に係る四半期包括利益	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年4月8日付で、株式会社イーアイティと簡易株式交換を行いました。この結果、第1四半期累計期間において資本剰余金が115百万円増加し、また平成26年9月において新株予約権の行使が行われ資本金及び資本剰余金がそれぞれ31百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金1,471百万円、資本剰余金が343百万円となっております。